

土砂災害 ハザードマップ

大切なご家族を守るのため、日ごろから防災の準備をしておきましょう！

保存版

連絡先 銚田市役所 総務部 総務課 防災交通係
TEL:0291-33-2111

土砂災害の原因には、「がけ崩れ」「土石流」「地すべり」があります

がけ崩れ 銚田市で、起こる可能性が一番高い土砂災害です

地震や大雨・長雨で地面に水がしみ込んで土の抵抗力が弱くなり、突然斜面が崩落する現象をいいます。特に人家の近くで突然発生すると逃げ遅れる人が多く、大きな人的被害をもたらします。



こんな時は注意！！

- がけからの水が濁る。
- がけから小石がパラパラと落ちる。
- がけから木の根が切れる音がある。

こんな場所は注意！！

- がけに亀裂が入っている所。
- がけの上部がせり出している所。
- 急ながけで高い所。

土石流



集中豪雨などが引き金となって、多量の土砂や岩石が流水によって津波のように襲ってくる現象をいいます。

地すべり



豪雨や長雨、さらには大規模な地震に伴って地下水が地層にしみ込んで、そこから上の地層がすべり落ちる現象をいいます。

日ごろから、早く避難出来るよう準備をしておきましょう

■ 身近な場所の危険箇所を調べておく

自分の家や勤め先、学校などが土砂災害危険箇所、土砂災害警戒区域・特別警戒区域や浸水想定区域内にあるか、確認しておきましょう。

■ 避難場所や避難経路を決めておく

避難場所、避難路など家族全員で下見したり、緊急時などの連絡方法をあらかじめ決めておきましょう。

■ 非常時に備え、必要な持ち出し品を用意しておく



現金・トイレ用紙・ナイフ・手袋・携帯雨具・筆記用具・新聞紙・ビニールシート・簡易トイレ など

万一災害の危険が迫ってきたら、次の点に注意し避難しましょう

災害情報に注意しながら避難しましょう

- 大雨の時は、地下街、地下室が浸水してしまうおそれがあります。大雨の時はできるだけ地下をさけるようにしましょう。
- 災害時の車の避難は大変危険です。水圧で閉じこめられる可能性があります。徒歩で避難するようにしましょう。



土砂災害の特徴を知り避難しましょう

- 土石流は速度が速いので、流れを背にして逃げるのではなく、土砂の流れる方向に対して直角に逃げるようにしましょう。
- がけ崩れの土砂は、がけの高さの2倍の距離までくるといわれています。がけからできるだけ遠くに逃げるようにしましょう。



要援護者への支援をしましょう

高齢者・障がい者・傷病者・乳幼児・外国人の方などの『要援護者』といわれる方は、災害が発生した場合、情報収集や避難行動・避難生活などで困難な状況に置かれることが多くなります。地域で声をかけて励ましたり、手を添えたり、肩を貸すなどの支援をしましょう。

大雨の場合に気象台が発表する防災気象情報

| | | | |
|------------|--|------|-----------------|
| 大雨注意報 | 1時間雨量 30 mm 以上 | 大雨警報 | 1時間雨量 50 mm 以上 |
| 記録的短時間大雨情報 | 数年に1度の猛烈な雨が観測された時に発表 | | 1時間雨量 100 mm 以上 |
| 土砂災害警戒情報 | 大雨による土砂災害発生危険性が高まった時、茨城県砂防課と水戸地方気象台が共同発表 | | |

| やや強い雨 | 強い雨 | 激しい雨 | 非常に激しい雨 | 猛烈な雨 |
|----------------------|-------------------------------|------------------------------|------------------------|----------------------------|
| | | | | |
| 1時間に10～20mm | 1時間に20～30mm | 1時間に30～50mm | 1時間に50～80mm | 1時間に80mm～ |
| この程度の雨でも長く続く時は注意が必要。 | 側溝や下水、小さな小川があふれ、小規模ながけ崩れが始まる。 | がけ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。 | 土石流が起こりやすく、多くの災害が発生する。 | 大規模な災害が発生するおそれ強く、厳重な警戒が必要。 |

情報の伝達方法

防災情報は各機関から下図のような経路で伝達されます。防災行政無線・テレビ・ラジオ・インターネットなどを利用して情報収集に努めましょう。



「避難情報」には以下の3種類があります

- 弱** 避難準備情報 → 避難の準備を始めましょう。
高齢者や障がいのある人など、避難に時間を要する要援護者が避難行動を開始しなければならない段階です。
- 拘束力** 避難勧告 → 避難を始めてください。
避難を拘束するものではありませんが、避難のための行動をすすめる段階です。
- 強** 避難指示 → ただちに避難してください。
被害が発生する危険性が高い場合に出されます。避難勧告より拘束力が強い。

インターネット・メール・電話によって、災害情報を得ることが出来ます

| | |
|--------------------|--|
| 国土交通省 関東地方整備局 | ホームページ = http://www.ktr.mlit.go.jp/ |
| 国土交通省 防災情報提供センター | ホームページ = http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/ 携帯電話から = http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html |
| 気象庁 | ホームページ = http://www.jma.go.jp/jma/index.html |
| 茨城県 防災・危機管理ポータルサイト | ホームページ = http://www.pref.ibaraki.jp/seikatsukankyo/bousaikiki/bousai/bosai/ |
| 茨城県 防災情報メールサービス | ホームページ = http://www.pref.ibaraki.jp/seikatsukankyo/bousaikiki/bousai/bosai/mail/bosai.html |

災害時に家族と連絡が取れない場合は？

災害時に電話が混雑して、家族と連絡が取れない時に「171」をダイヤルし、伝言の録音・再生を行うことが出来ます。また大きな災害が発生した時に、各携帯会社の「災害用伝言板」を利用して伝言を登録することも出来ます。